

「新しい東北」先導モデル事業 平成 26 年度事業の選定について
(プロジェクト事業)

平成 26 年 6 月 26 日
復 興 庁

1. 応募・選定について

- 応募のあった提案数は 252 件。(地域別・分野別の提案数は別紙 1 を参照)
- 応募のあった提案について、復興推進委員や各分野の有識者(別紙 2) から御意見を伺いつつ、選定基準に照らして審査を行った結果、48 件を選定する。(選定案件のリストは別紙 3 を参照)

【子どもの成長】

- ・ 昨年度は子どもの遊び場づくりに関連する取組を多数選定。今年度は、地域の将来を支えていく「人材」を育てる取組を中心に選定。

【高齢社会】

- ・ 昨年度は地域包括ケアの推進に関連する取組を多数選定。今年度は、仮設住宅入居者等の健康支援に関連する取組を中心に選定。
また、新たに、高齢者等を対象とした買物支援に関する取組を選定。

【エネルギー】

- ・ 自律・分散型のエネルギーシステムの導入に向けた取組を中心に選定。

【社会基盤】

- ・ 今年度は新たに、ICT サービスの活用により、災害時の防災・減災のみならず、平常時の地域コミュニティ再生や地域振興などの要素を加えた取組を選定。

【地域資源】

- ・ 今年度は、水産加工業を中心に、生産基盤の共同化や地域ぐるみのマーケティング等、地域の基幹産業の底上げ・成長につながり得る取組を選定。
また、新たに、海外展開や訪日外国人観光客の獲得を目指す取組や、花きのブランド化に関する取組を選定。

2. 今後の取扱いについて

- 選定した案件については、選定過程で復興推進委員等からいただいた御意見を踏まえ、事業内容の精査を行い、提案主体とも調整を実施。7 月以降、順次、請負契約を締結する予定。(事業内容について、提案主体と調整が整わない場合には、契約できない可能性がある。)
- 各事業の取組状況を把握するため、取組開始から概ね 3 か月を経過した時点で、取組の進捗状況の報告を求めるとともに、年度末には成果報告を求める。

参考：事業概要

- 「新しい東北」の実現に向け、被災地で既に芽生えている先導的な取組を育て、被災地での横展開を進め、東北、ひいては日本のモデルとしていくため、先導的な取組を幅広く公募し、支援を実施。

※ 取組の立ち上げ段階において必要となるソフト面の取組を包括的に支援。

- 平成 26 年度は、以下の 3 区分で提案を募集。

① プロジェクト事業 【公募期間：4/1～4/18】

以下の 5 分野に関して、復興推進委員会における議論の状況に即したプロジェクトを募集。

- ・ 元気で健やかな子どもの成長を見守る安心な社会
- ・ 「高齢者標準」による活力ある超高齢社会
- ・ 持続可能なエネルギー社会（自律・分散型エネルギー社会）
- ・ 頑健で高い回復力を持った社会基盤（システム）の導入で先進する社会
- ・ 高い発信力を持った地域資源を活用する社会

② 横断的課題支援事業 【4月18日付けで4件選定】

被災地では、リーダーとなる人材の育成・確保や起業・新事業の創出に向けた支援等、各種取組・事業に横断した課題が存在。こうした横断的な課題の解決に向けた支援を行う取組を募集。

③ 継続事業 【4月18日付けで46件選定】

平成 25 年度「新しい東北」先導モデル事業に選定された者を対象に、当該事業により実施した取組内容をさらに発展させる取組を募集。

- 選定基準は以下のとおり。

① 先導性・モデル性

先進的な発想や手法を活用した取組であること
他の地域にとって参考となり得る取組であること

② 持続性

取組内容が、将来にわたり、地域で持続的に実施することが可能なものであること

③ 相乗効果・波及効果

取組の発展に向けて、多様な連携先の確保や効果的な情報発信が想定されていること

④ 主体性

地域の関係者が主体となった実施体制の構築や人材の育成が実施されていること
（例えば、女性、若者、高齢者などの多様な主体の参加等）

⑤ 計画性・実現可能性

取組内容が明確かつ具体的であること
無理のない取組スケジュールを設定していること

⑥ 効率性

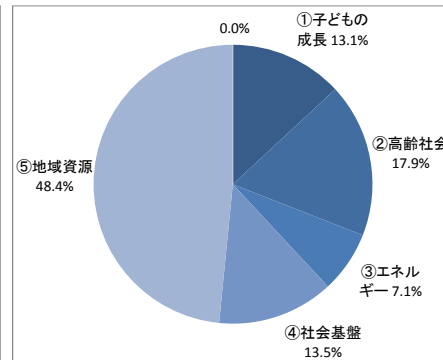
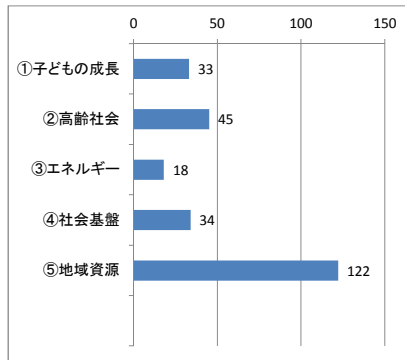
取組の目的・規模等に照らして、その見積内容が適切であること

平成26年度「新しい東北」先導モデル事業 応募状況・選定の状況について

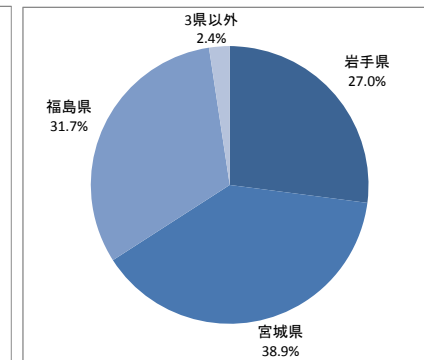
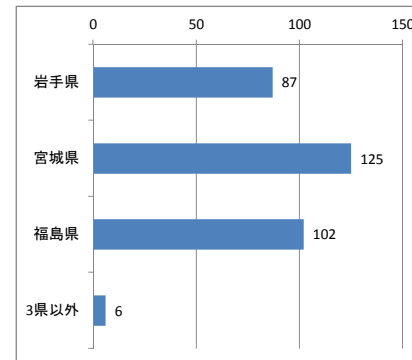
応募状況

応募総数：252件

(1) テーマ別案件数



(2) 対象地域別案件数

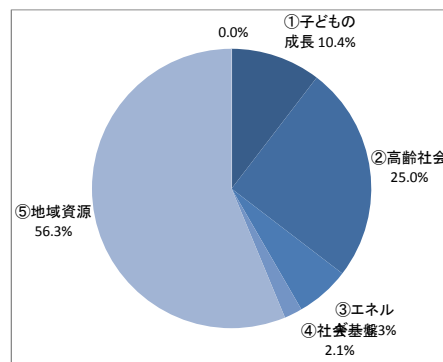
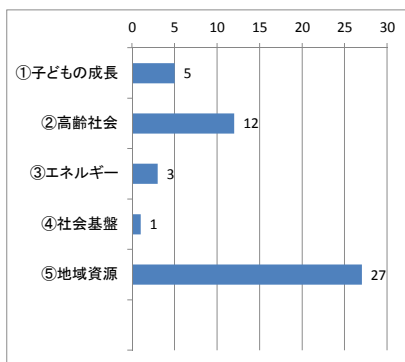


※1案件が複数地域にまたがる場合もあるため、合計数は応募総数とは一致しない。

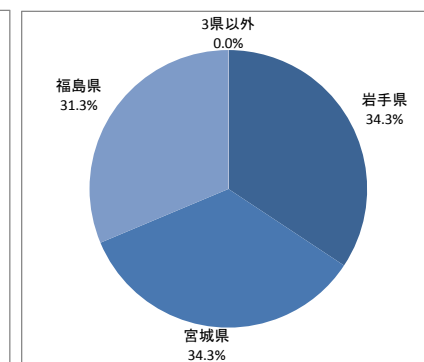
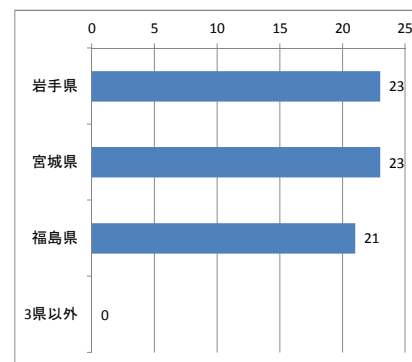
選定状況

選定件数：48件

(1) テーマ別案件数



(2) 対象地域別案件数



※1案件が複数地域にまたがる場合もあるため、合計数は選定件数とは一致しない。

「新しい東北」先導モデル事業 審査・評価に係る有識者

テーマ	氏名	所属・肩書
子どもの成長	小澤 紀美子	東京学芸大学名誉教授、 公益社団法人子ども環境学会会長
	仙田 満	公益社団法人子ども環境学会代表理事、 環境デザイン研究所会長、東京工業大学名誉教授
高齢社会	大方 潤一郎	東京大学高齢社会総合研究機構 機構長 (兼)工学系研究科都市工学専攻 教授
	辻 哲夫	東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授
エネルギー	保坂 寛	東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授
	八尋 俊英	株式会社日立コンサルティング 代表取締役社長
社会基盤	今村 文彦	東北大学災害科学国際研究所教授(所長)
	室崎 益輝	公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 副理事長・研究調査本部長
地域資源	一次産業	大澤 信一 株式会社農業活性化研究所 代表取締役
	観光	矢ヶ崎 紀子 東洋大学 国際地域学部 国際観光学科 准教授
	ものづくり・IT	平野 哲行 株式会社平野デザイン設計 代表取締役社長
	環境	渋谷 晃太郎 岩手県立大学総合政策学部 教授

平成26年度「新しい東北」先導モデル事業 選定案件一覧（プロジェクト事業）

No.	主な対象テーマ	取組タイトル	取組主体
1	①子どもの成長	地域を愛する、地域に貢献する子どもを育てる	NPO東村山市生き生きまちづくり、福島県相馬市立磯部小学校、福島県相馬市立磯部中学校
2	①子どもの成長	ジュニアエコノミカレッジIN郡山	郡山商工会議所青年部
3	①子どもの成長	原発被災地とその受入自治体の子ども達が共に歩める未来を創る『こどもまちづくり』モデル事業	NPO法人まちづくりNPO新町なみえ、早稲田大学都市・地域研究所
4	①子どもの成長	被災地と全国の学生をつなぐ「心の交流」プロジェクト	公益社団法人助けあいジャパン
5	①子どもの成長	大槌まちゼミ:高校生若者による地域ビジネス支援の仕組みづくり	大槌町コミュニティ再生会議
6	②高齢社会	好齢(高齢者)ビジネス事業による地域活性化モデルのご提案	長洞元気村協議会
7	②高齢社会	仮設住宅に居住する高齢者の認知症予防	東北大学加齢医学研究所
8	②高齢社会	被災地グッツから自立を促すビジネスモデルプロジェクト	NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク、株式会社福市
9	②高齢社会	予防的啓発教育とアウトリーチによる新しい地域健康基盤作り	特定非営利活動法人 心の架け橋いわて
10	②高齢社会	保育所を活用した生活不活発病防止食事受け取りシステムの構築事業	公益社団法人日本栄養士会、公益社団法人岩手県栄養士会、公益社団法人宮城県栄養士会、公益社団法人福島県栄養士会(調整中)
11	②高齢社会	ICT活用見守りネットワーク形成—多様なネットワークの連携による人的見守りの強化と進化	公立大学法人岩手県立大学
12	②高齢社会	双葉町外拠点をフィールドとした先導的コミュニティ基盤の構築	共創する復興推進プロジェクト研究会、福島県双葉町、一般社団法人ふくしま連携復興センター
13	②高齢社会	TVデータ放送による過疎・帰還住民への高齢者向け宅配サービス	(株)テレビユー福島・(株)NTT東日本福島・(株)いちい・(株)アイ・エム・ディ・アルファ電子(株)・川内村・昭和村
14	②高齢社会	「今泉ユニバーサル・ワーカーズ・バレー」創造による地域再生	一般社団法人生命環境産業振興協議会(文中、生命)、一般社団法人陸前高田・今泉地区 明日へのまちづくり協議会(文中、明日まち)
15	②高齢社会	「りくカフェ」を核とした地域健康づくり体制の構築プロジェクト	NPO法人りくカフェ
16	②高齢社会	被災者雇用創出のためのユニバーサル農業事業	株式会社アルコバレーノファーム
17	②高齢社会	ICTを活用した無人販売所のプロジェクト	変幻自在 合同会社
18	③エネルギー	海と山と人をつなぐ地域再生可能エネルギーシステム・大船渡PJ	リマテック東北(株)、大船渡市、東北大学大学院工学研究科技術社会システム専攻、太平洋セメント(株)大船渡工場、大船渡市漁業協同組合、(株)リナジェン(本年度上期に協議会設置予定)
19	③エネルギー	地域の未利用エネルギー活用による6次産業クラスター創出事業	一般財団法人 エンジニアリング協会(産学官連携型震災復興コンソーシアム)
20	③エネルギー	デジタルグリッドを用いた新しい電力流通システムの地域導入実証実験運営事業	福島民報社、国立大学法人東京大学、(株)電通、(株)電通東日本

No.	主な対象テーマ	取組タイトル	取組主体
21	④社会基盤	地域に根ざしたICTサービス活用による頑健で活力ある街づくり	地域防災モデルシステムによる頑健で活力ある東北創造プロジェクト
22	⑤地域資源(一次産業)	三陸鉄道とキッチンカーを活用した沿線農山漁村地域の活性化	株式会社釜石プラットフォーム
23	⑤地域資源(一次産業)	福島県木材活用CLT建築物推進事業	福島県CLT推進協議会
24	⑤地域資源(一次産業)	新しい東北・食文化創造事業(食彩の王国・福島の未来創造)	東北:食文化創造連絡協議会
25	⑤地域資源(一次産業)	最先端水産業モデル都市形成プロジェクト	石巻水産復興会議、石巻販路開拓支援センター、JEMCO日本経営等
26	⑤地域資源(一次産業)	気仙沼市の復興に向けた、水産資源の多角利用・高度利用の取り組み	気仙沼水産資源活用研究会
27	⑤地域資源(一次産業)	地域再生に向けた集落営林による「海は森の恋人プロジェクト」	特定非営利活動法人 吉里吉里国
28	⑤地域資源(一次産業)	紫かんしょの作付と、これを原料とした天然食品添加物色素の製造	紫かんしょ研究会
29	⑤地域資源(一次産業)	食文化を見つめなおすプロジェクト	気仙沼の魚(水産物)を学校給食に普及させる会
30	⑤地域資源(一次産業)	地域食品産業界と大学の連携による革新的商品創出先導モデル	東北食品研究開発プラットフォーム
31	⑤地域資源(一次産業)	被災地域発 食品加工企業イノベーションプロジェクト	株式会社アサツー ディ・ケイ東北支社(構成団体にて「被災地企業販売力強化実行委員会」設立後、実施主体を移行予定)
32	⑤地域資源(一次産業)	東北発!海外展開加速化プロジェクト	東北海外展開加速化協議会
33	⑤地域資源(一次産業)	里山再生・森林資源活用スタートアップ事業	ふるさとの恵みバイオマス協議会
34	⑤地域資源(一次産業)	東北発「被災地花き」高品質ブランド創造支援	東北花き園芸復興協議会
35	⑤地域資源(一次産業)	ナタネによる東北復興プロジェクト	ナタネによる東北復興プロジェクト会議
36	⑤地域資源(一次産業)	サメまち気仙沼の持続可能な漁業と高齢化社会のヘルスケア食開拓	サメの街気仙沼構想推進協議会
37	⑤地域資源(一次産業)	欧州市場開拓に向けた東北産品のデジタルマーケティング基盤作り	デジタルメディアによる東北農水産加工品欧州市場開拓推進協議会(仮)
38	⑤地域資源(一次産業)	魚食グルメで経済復興と魚食文化再興を目指すプロジェクト	水産のまち大船渡の経済復興協議会
39	⑤地域資源(一次産業)	観光と水産を融合させた先進的事業モデルの構築	一般社団法人 リアス観光創造プラットフォーム
40	⑤地域資源(観光)	路線バスを活用した県内流動促進モデルと情報発信ツールの開発	福島県観光二次交通連絡協議会事務局 福島交通株式会社
41	⑤地域資源(観光)	新免税制度を活用した訪日外客による物産品の消費拡大支援事業	株式会社ジャパンインバウンドソリューションズ(略称JIS)

No.	主な対象テーマ	取組タイトル	取組主体
42	⑤地域資源(観光)	いわての“いいイロ”発信プロジェクト事業	MCL専門学校グループ 盛岡情報ビジネス専門学校
43	⑤地域資源(観光)	スマートフォン等でのカード決済の導入を通じた地域経済の活性化	アクセントチャ株式会社、コイニー株式会社、会津若松スマートシティ推進協議会
44	⑤地域資源(ものづくり・IT)	「東松島刺繍の街プロジェクト」～新地場産業創出～	一般社団法人東松島みらいとし機構
45	⑤地域資源(ものづくり・IT)	東北マーケットプレイス・ECプロジェクト	東北マーケットプレイス・ECプロジェクト事務局
46	⑤地域資源(ものづくり・IT)	東北クリエイタ人材育成プラットフォームプロジェクト	南相馬ITコンソーシアム
47	⑤地域資源(ものづくり・IT)	未利用地域資源の再活用を通じたビジネスモデル形成事業	一般社団法人 ISHINOMAKI2.0
48	⑤地域資源(環境)	あぶくまの人と自然を見つめ直しテイストを創りあげる事業	滝根町商工会